

令和4年度 学力学習状況調査（後期）の結果について

令和5年2月17日
津幡町立笠野小学校
校長 辰巳 勝

1 学力状況調査の実施（後期）

	1 2月
5年	町学力実態調査 I（国語科・算数科）

2 結果

	国語科	算数科
5学年	県平均比較 ◎ (10%以上上回る)	県平均比較 ◎ (10%以上上回る)

◎5%以上上回る ○1～5%上回る →平均と同程度 △1～5%下回る ▲5%以上下回る

3 結果と（・）と今後の取組（○）

- ・大変良好。かなり高得点であった。

国 語 科

- 漢字やローマ字（3年以上）の練習を、家庭学習を含めて日々積み重ねていく。
- 平日読書や週末読書（親子読書）を推進する。
- 繰り返し出てくる重要な言葉や文章を見つけて、線を引く経験を重ねる。
- 自分の感想や考えをもち発表する場を、授業の他、行事や委員会活動などで設ける。

算 数 科

- 定義を確実に理解させ、定義を根拠に説明していく場を設ける。
- 説明の型になる文章を黒板に提示し、答え方や答え方のパターンについて確認する。
- 問題文を理解するために、読み取ったことを図・数直線などに表す手順を繰り返す。

☆全校での共通実践（学力向上プランⅢより）☆

- 問われていることや条件を正しく理解するために、問いや条件に線を引いて読ませたり、問題文の文章を段落ごとに区切って内容を把握しやすいようにしたりする。
- 新聞記事や短編物語などを読み、要約やあらすじを書けるようにする。
低学年—読んだ本を視写したり感想を書いたりする。
中学年—読んだ本や新聞記事を視写し、感想を書いたりあらすじを書いたりする。
高学年—読んだ本や新聞記事を視写し、あらすじや要約を書いたり、読み取った内容を基にした問題作りを行ったりする。